I·O DATA

B-MANU200336-04
M-MANU200255-04

2 セットアップガイド

CBESA

注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。

1 インストールする

まだ本製品をパソコンに取り付けないでください

注意 「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。

1.ドライバーソフトのインストール

ドライバーソフトをインストールします。
本製品をWindowsで使用できるようにします。

❶ 本製品を取り付けていない状態で、パソコンの電源を入れます。

❷ 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

❸ 下記の画面が表示されます。[ドライバー]ボタン→[インストール]ボタンをクリックします。

❹ 後は順に[次へ]、[完了]をクリックします。

以上でドライバーソフトのインストールは終了です。
次に「デバイス管理サービス」をインストールします。

2.「デバイス管理サービス」のインストール

「デバイス管理サービス」は、管理者権限以外の制限ユーザーの場合でも本製品に接続した機器を取り外しできるようにするユーティリティです。インストールするだけで有効になります。

Windows Vista®でSATAUnplugを使用する場合は、必ずインストールしてください。
Windows XP/2000で「コンピュータの管理者」でご利用の場合は、「デバイス管理サービス」のインストールは不要です。

❶ 「デバイス管理サービス」のインストールを行います。
[デバイス管理サービス]ボタンをクリックします。

❷ 後は画面の指示にしたがってすすめます。

❸ [完了]ボタンをクリックします。

以上で「デバイス管理サービス」のインストールは終了です。

注意
●すでに「デバイス管理サービス」がインストールされている場合
下の画面が表示されます。インストールの必要はありません。[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

※「デバイス管理サービス」は、弊社HDCシリーズ、HDH-SUEHシリーズ等に添付されているものと同じものです。以前に最新の「デバイス管理サービス」をインストールしていた場合は、上記画面が表示されますので、インストールの必要はありません。

●Ver.1.20以前の「デバイス管理サービス」がインストールされている場合
下の画面が表示されます。
現在のものがアンインストールされ、続いて新しいバージョンがインストールされます。

3.デバイスアンプラグユーティリティのインストール

デバイスアンプラグユーティリティ(SATAUnplug:サタアンプラグ)をインストールします。
本製品に接続したeSATA接続ハードディスクを取り外す際に使用します。

❶ [SATAUnplug]ボタンをクリックします。

❷ 後は順に[次へ]、[インストール]をクリックします。

❸ [完了]ボタンをクリックします。

以上でドライバソフトと「デバイスアンプラグユーティリティ」(SATAUnplug)のインストールは終了です。
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

注意
●すでに「SATAUnplug」がインストールされている場合
現在のものをアンインストール後に、本製品添付の「SATAUnplug」をインストールしてください。

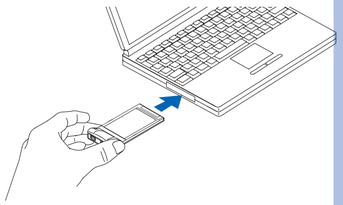
2 パソコンに取り付ける

●本製品をパソコンに取り付けます。

まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ パソコンの電源が入っていること(Windowsのデスクトップ画面が表示されていること)を確認します。

❷ 本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。
奥まで確実に挿入してください。

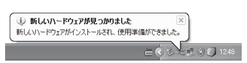


注意
●パソコンの電源が入っている状態で、本製品を挿入します。
●必ずカードのラベル面を上にして挿入してください。
●イジェクトボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで挿入してください。
●2段のPCカードスロットの場合で、本製品以外に他のPCカードも同時に使用する場合には、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
※他のPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合、同時に使用することはできません。

❸ 本製品をパソコンに取り付けると以下の画面が表示されます。
画面が消えるまでお待ちください。

▼Windows Vista®の場合

▼Windows XPの場合



▼Windows 2000の場合

3 フィルタードライバーをインストールする

●パソコンに取り付け後、「フィルタードライバー」をインストールします。

Windows Vista®では通常インストールする必要はありません。

まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

❷ 下記の画面が表示されます。[ドライバー]ボタン→「CBESAフィルタードライバーのインストール」の[インストール]ボタンをクリックします。

❸ [OK]ボタンを順にクリックします。

❹ [はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

以上でフィルタードライバーのインストールは終了です。

「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

注意
●[インストール]ボタンがグレーとなり有効となっていない場合
本製品が正しく認識されていません。【1 インストールする】の【1.ドライバーソフトのインストール】を行った後、本製品を接続してください。
ボタンが有効になります。

4 取り付けを確認する

●デバイスマネージャで本製品の取り付けを確認します。

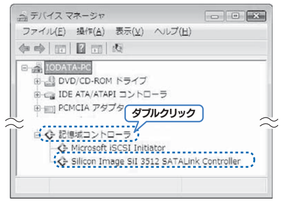
まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ [スタート]-[コンピュータ(マイコンピュータ)]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
※Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックします。

❷ 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。(Windows Vista®の場合)
※Windows XP/2000の場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

❸ [記憶域コントローラ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。
※Windows XP/2000の場合は、[SCSIとRAIDコントローラ]をダブルクリック。

[Silicon Image Sil 3512 SATALink Controller]
※フィルタードライバーをインストールした場合は、(I-O DATA)がつきます。



上記が表示されていれば本製品は使用できます。

5 eSATA接続機器を接続する

本製品にeSATA接続機器を接続する場合、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなります。
必ず、eSATA接続機器に付属の取扱説明書、および、以下の注意事項をお読みください。

eSATA接続機器を接続する前に

本製品は、WindowsのACPI機能には対応しておりません。従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。
(詳細は別紙[①はじめにお読みください]の「スタンバイ、スリープ 休止状態機能を無効に設定する」参照)

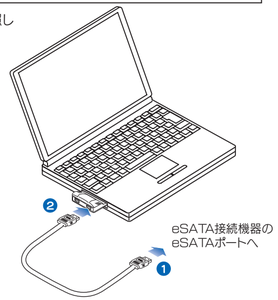
●スタンバイ、スリープ機能は無効に設定してください。
●Windows終了時の[スタンバイ]、[スリープ]、[休止状態]は実行しないでください。

eSATA接続機器の接続、取り外しおよび使用について

eSATA接続機器の使用方法については、eSATA接続機器の取扱説明書を参照してください。

❶ eSATAケーブルをeSATA接続機器のeSATAポートに接続します。

❷ eSATAケーブルを本製品に接続します。



注意
- **●本製品にeSATA接続機器を接続した直後に、パソコンが止まったように見える場合があります。そのまましばらくお待ちください。eSATA接続機器が認識され、使用できる状態になります。**
- **●eSATA接続機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**

※eSATA接続機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんeSATAケーブルを抜いてから、再度接続してください。また、必ずeSATA接続機器の取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどからeSATA接続機器が認識されない場合は、Windowsを再起動してお試しください。

eSATA接続ハードディスクの接続を確認する

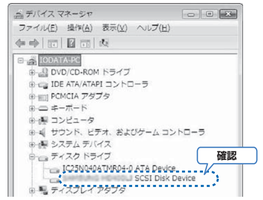
本製品に接続したeSATA接続ハードディスクの接続状態は、デバイスマネージャで確認することができます。

❶ [スタート]-[コンピュータ(マイコンピュータ)]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
※Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックします。

❷ 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。(Windows Vista®の場合)
※Windows XP/2000の場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

❸ [ディスクドライブ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。

[xxxxxxx xxxxxxx SCSI Disk Device]
※ xxxxxxx xxxxxxxにはハードディスクのメーカー名や型番が表示されます。



上記が表示されていればeSATA接続ハードディスクは正しく接続されています。

本製品からeSATA接続機器を取り外す場合

Windows使用中に以下の手順を行って、本製品に接続したeSATA接続機器を取り外すことができます。

❶ タスクトレイの「SATAUnplug」アイコンをクリックします。

❷ 表示された［xxxxx xxxxx SCSI Disk Device - ドライブ（x:）を・・・・・］をクリックします。

❸ 以下の画面を確認後、本製品からeSATAケーブルを取り外します。

注意
- **●取り外し時は、コンピュータの管理者権限のユーザーでログオンしてご利用ください。**
  制限ユーザーで取り外したい場合は、[デバイス管理サービス]をインストールしてご利用ください。(表面の[「デバイス管理サービス」のインストール手順]参照)
- **●[SATAUnplug]アイコンとPCカード(本製品)の取り外しアイコンは間違えないようご注意ください。(本製品の取り外しについては、以下の【本製品をパソコンから取り外す場合】参照)**
  ・[SATAUnplug]アイコン　・PCカード取り外しアイコン

- **●[SATAUnplug]では、本製品に接続した以外のドライブ(内蔵SATAハードディスクなど)もメニューに表示される場合があります。誤って内蔵SATAドライブを取り外さないようご注意ください。もし誤って内蔵SATAドライブを取り外してしまった場合は、パソコンを再起動してください。**

注意
- **●ケーブル取り外し時は、本製品がパソコンから取り外されないようコネクタ部を押さえ、ケーブル先端のプラグ部分を持って取り外してください。**
  本製品ごと引き抜かれると、異常をきたします。
- **●本製品に同時に2台のeSATA接続機器接続時は、上記手順でケーブルを取り外した後、2台目の取り外し手順を行ってください。**

本製品をパソコンから取り外す場合

Windows使用中に以下の手順を行って、本製品を取り外すことができます。
※以下の手順を行うと本製品に接続しているeSATA接続機器も使用できなくなります。

❶ タスクトレイの取り外しアイコンをクリックします。

❷ 表示された［Silicon Image Sil 3512 SATALink Controllerを・・・・・］をクリックします。

❸ 表示画面を確認後、[OK]ボタンまたは[×]ボタンをクリック後、PCカードスロットから取り外します。

インストールしたサポートソフトを削除する場合

インストールした「サポートソフト」の削除方法について説明します。

注意 フィルタードライバーを削除する場合は、以下の手順ではなく、[DDSETUP.exe]を起動してアンインストールを行います。
サポートソフトCD-ROMをセット後、[ESA_xxx]→[CBFILTER]→[各OSのフォルダ]内の[DDSETUP]アイコンをダブルクリックし、表示された画面の[アンインストール]をチェック後、[OK]ボタンをクリックして削除してください。

❶ 本製品に接続されている全てのeSATA接続機器を取り外します。
⇒取り外し方については、左の【本製品からeSATA接続機器を取り外す場合】を参照してください。

❷ 本製品をパソコンから取り外します。
左の【本製品をパソコンから取り外す場合】を参照してください。

❸ [スタート]（→[設定]）→[コントロールパネル]を開き、[プログラムのアンインストール]または[プログラムの追加と削除]（[アプリケーションの追加と削除]）を開きます。

❹ 一覧から削除するソフトウェアを選択後、[アンインストール(アンインストールと変更)]または[変更と削除]（[変更/削除]、[削除]）ボタンをクリックします。

●ドライバソフトを削除する場合
[Windows ドライバ パッケージ - Silicon Image (Sil3112) SCSIAdapter]を選択
●「デバイスアンプラグユーティリティ」を削除する場合
[SATAUnplug]を選択
●「デバイス管理サービス」を削除する場合
[Device Management Service]を選択

後は画面の指示に従ってください。
以上で、インストールしたサポートソフトの削除は終了です。

困ったときには

本製品を使っていて、トラブルがあったときにご覧ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

【4 取り付けを確認する】で確認したドライバの頭に「！」や「×」マークがある

原因1 正しくインストールされていません。
対処 サポートソフトを削除（裏面【インストールしたサポートソフトを削除する場合】参照）した後、本製品を取り外し（裏面【本製品をパソコンから取り外す場合】参照）、再度【1 インストールする】からの作業を行ってください。

原因2 リソースがうまく割り当てられていません。
対処 Windowsを再起動してください。

動作が不安定、もしくは、動作がおかしい

原因 CardBusコントローラの設定が正しくありません。
対処 表面の【3 フィルタードライバーをインストールする】を参照して、フィルタードライバーをインストールしてください。

Copyright (C) 2005-2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.